ボイストレック

V-13

JP 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

保 証 書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部 品 代		修 理 工 料
本 体	1年	無 料		
品 名	ボイストレック	型 名	V-13	
シリアルNo.		お買い上げ日	年 月 日	
販 売 店 名	無 効			

<保証規定>

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は当社サービスステーションに依頼してください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、別紙の最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   ニ. 本書のご提示がない場合。
   ホ. 本書にお買い上げ年月日・シリアル No. お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   ヘ. 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

<保証書取扱い上の注意>

本書は日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

<保証責任者・保証履行者>

オリンパス イメージング株式会社
〒 163-0914 東京都新宿区西新宿 2-3-1 新宿モノリス

J1-BS0007-01
AP0707

はじめに

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しくお使いください。

商標について

ボイストレック（Voice-Trek）はオリンパス株式会社の登録商標です。

IBM、PC/ATは、International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows MediaはMicrosoft Corporationの登録商標です。

MacintoshおよびAppleは米国アップル社の登録商標です。

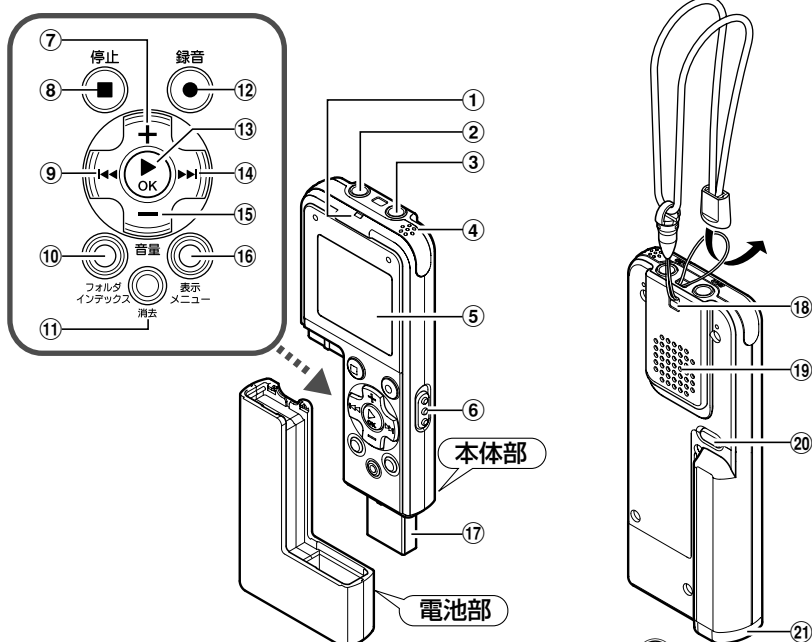
使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温·多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- 清掃する時、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。
- テレビ·冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカーやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータが異常になることがあります。

〈データ消失に関する注意事項〉

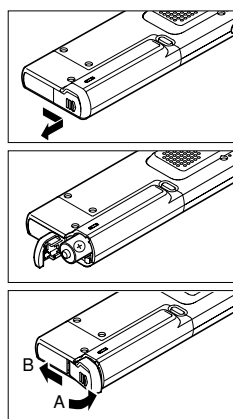
メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。
大切な記録内容は、あらかじめメモに書き残すか、パソコンのハードディスク、MOなどのメディアにバックアップし、保存することをおすすめします。
本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

各部のなまえ

① 録音 / 再生表示ランプ
② イヤホンジャック
③ マイクジャック
④ 内蔵マイク
⑤ ディスプレイ（液晶表示パネル）
⑥ ホールドスイッチ
⑦ VOL（⊕）ボタン
⑧ 停止ボタン（■）
⑨ 早戻しボタン（⏮）
⑩ フォルダ / インデックスボタン（）
⑪ 消去ボタン（◎）
⑫ 録音ボタン（●）
⑬ 再生 /OK ボタン（▶）
⑭ 早送りボタン（⏭）
⑮ VOL（⊖）ボタン
⑯ 表示 / メニューボタン（表示メニュー）
⑰ USB 端子
⑱ ストラップ取り付け部
⑲ 内蔵スピーカー
⑳ リリースボタン
㉑ 電池ぶた

- 本機は電池部と本体部に切り離すことができます。
- 本体部はそのままパソコンのUSBポートまたはUSBハブに接続できます。
- ストラップは付属されていません。別売りのアクセサリーをご利用ください。

ご注意

電池部には本体部以外のものを絶対に挿さないでください。電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。

電池を入れる

1 電池ぶたを上から軽く押しながら、スライドさせて開ける

2 単４形電池の⊕と⊖を正しい向きで入れる

3 電池ぶたをAの方向に押さえながら閉じて、Bの方向にスライドさせ、電池ぶたを完全に閉める

ホールドスイッチが矢印の方向にある場合は、「ホールド」表示後にディスプレイが消灯しますが、そのまま次へお進みください。

本機では、別売のオリンパス製ニッケル水素充電池をご使用いただけます。オリンパス製充電器と併せてご利用ください。ただし電池残量表示が正しく表示されない場合があります。

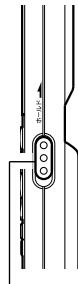
電池を交換するめやす

ディスプレイの電池残量表示に ▭ が表示されたら、本機を停止して、早めに新しい電池に交換してください。▭ が点灯したときは動作が停止し、操作できなくなります。

- 電池を交換するときは、必ずホールドスイッチを矢印の方向にしてから交換してください。
- 15分以上電池を抜いたときは、再び電池を入れた際に時刻の設定が必要になることがあります。

電源について

電源を入れる → **ホールドスイッチを矢印と反対方向にスライドさせる**
ディスプレイが点灯し、電源が ON の状態になります。レジューム機能により電源を切る前]に記憶した停止位置に復帰します。

電源を切る → **停止中に、ホールドスイッチを矢印の方向にスライドさせる**
ディスプレイが消灯し、電源が OFF の状態になります。レジューム機能により電源を切る前の停止位置を記憶して電源が切れます。

ホールドスイッチ

省電力機能について

電源を入れて停止状態のまま5分以上経過すると、ディスプレイ表示が消え、省電力モードになります。省電力モードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

誤作動を防止する / ホールド機能

ホールドスイッチを矢印の方向にすると、その状態を保ち、他のボタン操作を受けつけません。カバンやポケットに入れたとき、誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運ぶときなどに便利です。本機を使用するときは必ずホールドスイッチを解除してください。

ご注意

●再生状態でホールドスイッチを矢印の方向にすると、再生中のファイルが再生を終了した時点でディスプレイが消灯します。
●録音状態でホールドスイッチを矢印の方向にすると、録音可能時間がゼロになった時点で録音を終了し、ディスプレイが消灯します。

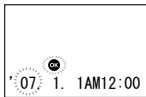
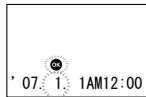
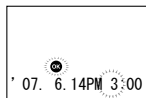
日付・時刻を合わせる（ﾄｹｲｾｯﾃｲ）

日付と時刻を合わせておくと「いつ録音した」という情報がファイルごとに記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ合わせておくことをおすすめします。

ご購入後初めてお使いになるときや、電池を長時間抜いていたときは、自動的に「年」表示が点滅します。手順4以降から設定してください。

1 ◎（メニュー）を 1 秒以上押してメインメニューに入る

2 ⏭ または ⏮ を押して「ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ」を選び、OK を押す
「ﾄｹｲｾｯﾃｲ」が表示され、OK ⏭が点滅します。

3 ⏭ または ⏮ を押して設定項目を選ぶ
「年」「月」「日」「時」「分」の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。

4 ＋ または － を押して設定する
以下同じように ⏭ または ⏮ で次の設定項目を選び、＋ または － を押して、設定を行います。

5 OK を押して設定を完了する
設定した日時で本機の時計が動き始めます。
時報などに合わせてを OK を押してください。

6 ■ を押してメニューモードを終了する
日付・時刻の設定を完了します。

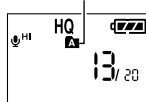
● 「時」「分」の設定中、◎（表示）を押すたびに、12時間表示と24時間表示が切り替わります。
● 「年」「月」「日」の設定中、◎（表示）を押すたびに、「年」「月」「日」表示の順序が切り替わります。
● 本体部と電池部を切り離した状態が長時間続いたり、短い間隔で繰り返し切り離す操作をおこなうと、時計の設定が必要になることがあります。

（西暦 2007 年 6 月 14 日表示例） '07. 6. 14 → 6. 14'07 → 14. 6'07

録音

フォルダについて

本機にはＡＢＣＤＥの5つのフォルダがあり、本機が停止中に◎（フォルダ）を押すとフォルダが切り替わります。
各フォルダに録音した音声は1件ごとにファイルとして保存されます。フォルダを使いファイルを分類すると、あとで目的のファイルを探すときに便利です。各フォルダには、最大で200件ずつのファイルを録音できます。

現在のフォルダ

録音する

ご購入後すぐに高音質録音ができるようにモノラルHQモード（高音質録音）が設定されていますが、ほかにもモノラルSP（標準録音）・モノラルLP（長時間録音）モードが設定できます。状況に応じた録音モードをお選びください。

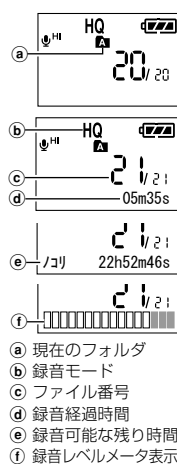
1 ◎（フォルダ）を押してフォルダを選ぶ

2 ◉ を押す

録音 / 再生表示ランプが赤色に点灯し、録音を始めます。
●イヤホンを本機のイヤホンジャックに差し込むと録音中の音声を聞くことができます。
音量は ＋ または − で調整できます。

3 ■ を押す

録音を終了し、停止状態になります。
●録音した音声は、自動的にフォルダの最後に記録されます。

ⓐ 現在のフォルダ
ⓑ 録音モード
ⓒ ファイル番号
ⓓ 録音経過時間
ⓔ 録音可能な残り時間
ⓕ 録音レベルメータ表示

録音を一時停止するには

録音を一時停止する	➜ ◉ を押す ➜	「ﾛｸｵﾝ ﾎﾟｰｽﾞ」が点滅します。
録音を再開する	➜ ◉ を押す ➜	一時停止したところから録音を再開します。

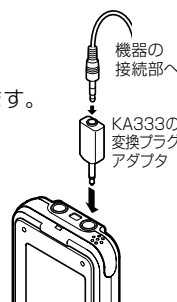
録音した内容をすばやく確認する

録音中に ▶OK を押す ➜ 録音を中断し、今録音したファイルが再生されます。

外部マイクや他の機器から録音

外部マイクや他の外部機器を接続し、音声を録音することができます。

●外部機器との接続には、別売りのコネクティングコードKA333とKA333に同梱されているステレオ・モノラル変換プラグアダプタをご使用ください。

●本機のジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
●外部マイクをご使用の際は、目的にあった指向性マイクやタイピンマイク（別売）などをご使用ください。

録音に関するご注意

●ディスプレイに「ﾌｫﾙﾀﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」または「ﾒﾓﾘｰ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたら、録音ができません。不要なファイルを消去してから録音してください。
●会議などの録音時、本機をテーブルに直接置くと、テーブルの振動を拾いやすくなります。本機とテーブルの間にノートなどを敷き振動を伝わりにくくすることで、よりクリアに録音されます。
●録音可能な時間が1分以下になると録音可能な時間が表示され、◎（表示）を押しても録音経過時間に切り替わりません。
●録音可能な残り時間が60秒、30秒、10秒になったときに、警告音がなります。
●録音可能な残り時間が60秒になると録音/再生表示ランプが赤色に点滅し、30秒、10秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
●録音一時停止のまま60分以上経過すると停止状態になります。
●会議、講演会などの録音は、話し手の声や音響状態によりはっきりとした録音ができない場合があります。より良い音質で録音したい場合は、HQモードでの録音や、外部マイク（別売）などの使用をおすすめします。
●本機では入力レベルの調節はできません。外部機器を接続するときは、試し録りをして、外部機器の出力レベルを調節してください。

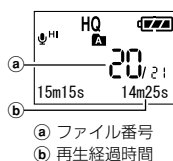
再生

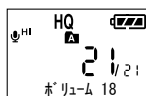
再生する

1 (フォルダ)を押してフォルダを選ぶ

2 または を押して再生したいファイルを選び、 を押す

再生が始まります。
録音/再生表示ランプが緑色に点灯し、再生経過時間が表示されます。

ⓐ ファイル番号
ⓑ 再生経過時間

3 または を押して聞きやすい音量に調節する

ディスプレイにボリュームレベルが31段階(0〜30)で表示されます。

再生を途中で止めるには

再生を停止する	➜	を押す	➜	今再生していたファイルの途中で停止します。
再生を再開する	➜	を押す	➜	停止していたところから再生を開始します。

早送り・早戻しするには

再生中にまたはを押し続ける	➜	ボタンから手を離すと、その位置から再生をします。

- 早送り中または早戻し中にファイルの終わりまで進むと、一時停止します。さらに押し続けると早送りまたは早戻しを続けます。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します。

ファイルの頭出しをするには

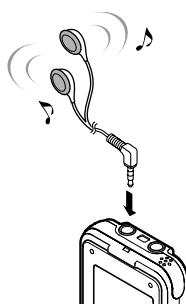
再生中 早聞き再生中 遅聞き再生中	➜	またはを押す	➜	次または再生中のファイルの頭出しをします。

ファイルの途中にインデックスマークまたはテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します。

イヤホンで聞くときは

イヤホンジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。
イヤホンを接続するとスピーカーから音はでません。

- 耳への刺激を避けるため、あらかじめ音量を十分に小さくしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞くときは音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

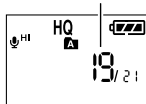
アクセサリー(別売)

単4形ニッケル水素充電池/充電器セット:BC400
単4形ニッケル水素充電池:BR401
コネクティングコード(イヤホンジャック↔マイクジャック):KA333
単一指向性モノラルマイクロホン(口述録音用マイク):ME52
モノラルタイピンマイク(無指向性):ME15
テレホンピックアップ:TP7
USB延長ケーブル:KP19

消去

消去する

不要になったファイルを簡単に消すことができます。消去したファイル以降のファイル番号は自動的に繰り上がります。

ファイルを 1 件ずつ消去するには

1 ◎ (フォルダ)を押していずれかのフォルダを選ぶ

2 ⏭ または ⏮ を押して消去したいファイルを選び、◎（消去）を押す

「⏮キャンセル」と「ショウキョ⏭」が交互に点灯します。

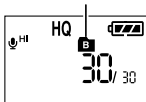
3 ⏭ を押す

「1ファイル ショウキョ？」が点滅します。

4 Ⓞ を押す

「ショウキョチュウ！」が点滅し、「カンリョウ」が表示されたら消去が完了します。

フォルダ内のすべてのファイルを消去するには

1 ◎ (フォルダ)を押していずれかのフォルダを選ぶ

2 ◎（消去）を 2 回押す

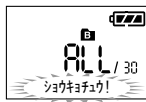
「⏮キャンセル」と「ショウキョ⏭」が交互に点灯します。

3 ⏭ を押す

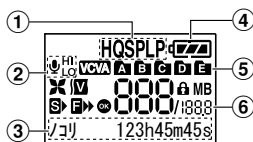
「ゼンファイル ショウキョ？」が点滅します。

4 Ⓞ を押す

「ショウキョチュウ！」が点滅し、「カンリョウ」が表示されたら消去が完了します。

ALL/30
ショウキョチュウ!

ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻すことができません。
- 消去ロック設定のあるファイルは消去されません。
- 設定中に8秒間操作を行わないと停止状態に戻ります。
- 消去を完了するまで数十秒かかることがあります。その間は絶対に電池を取り外したり、本機を切り離したりしないでください。データが破損する恐れがあります。

ディスプレイ（液晶表示パネル）

① 録音モード表示
② マイク感度表示
③ 情報、警告表示部
④ 電池残量表示
⑤ フォルダ表示
⑥ ファイル番号

- 音声フィルタ表示
- 早聞き再生表示
- 遅聞き再生表示
- VCVA 音声起動録音（VCVA）表示
- ローカットフィルタ表示
- 消去ロック表示

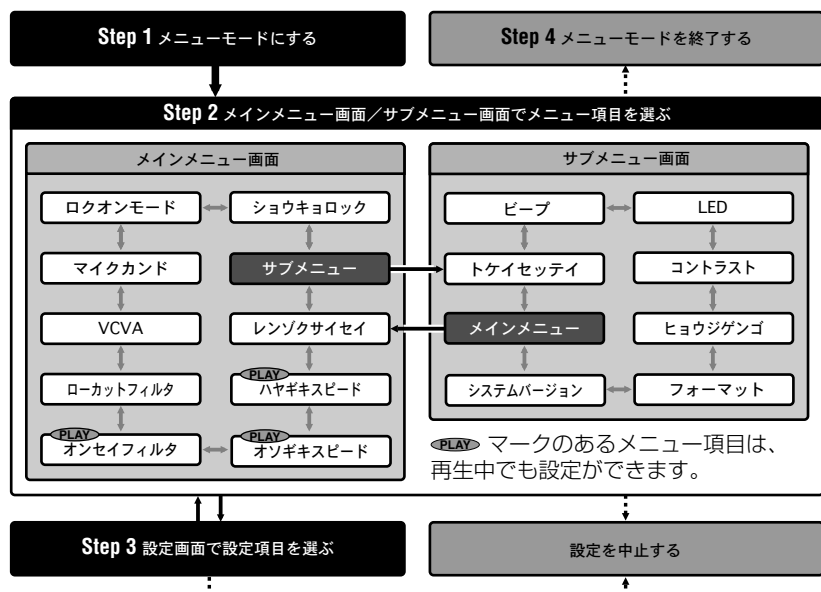
ディスプレイ表示を切り替える

本機はディスプレイ表示の切り替えが可能です。ディスプレイ表示を切り替えることにより、ファイルに関する情報や本機の状態を確認できます。

状態		操作		表示
停止中	➜	■ を押し続ける	➜	押している間、**「録音可能な残り時間」**と**「メモリ残量」**が表示されます。
停止中 再生中	➜	◎（表示）を押す	➜	押すたびに、**「再生経過時間」「再生残り時間」「録音した年月日」「録音した時刻」**の順に表示が切り替わります。
録音中	➜	◎（表示）を押す	➜	押すたびに、**「録音経過時間」「録音可能な残り時間」「録音レベルメーター」**の順に表示が切り替わります。

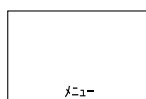
メニューモード

メニュー画面の階層と操作ボタン（ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ/ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）

本機をメニューモードにして、設定を切り替えることができます。

➡	◎（メニュー）	：１秒以上押してメニューモードにする。
⟷	⏭ または ⏮	：メインメニュー画面、サブメニュー画面または設定画面の項目を切り替える。
→	▶OK	：メインメニュー画面またはサブメニュー画面から設定画面に移動する。 設定画面で選んだ項目を確定し、メインメニュー画面またはサブメニュー画面に戻る。
▪▪▸	■ または ●	：メニューモードを終了する。（設定画面を表示中に押した場合は、選択途中の項目は設定されません。）

● メニューモード中に３分間何も操作しない場合は、メニューモードが解除されます。（設定中のメニュー項目の内容は設定されません）

基本的な操作方法

1 停止中に ◎（メニュー）を 1 秒以上押してメニューに入る

ﾒﾆｭｰ

2 ⏭ または ⏮ を押してメニュー項目を選び、▶OK を押す。

選択したメニュー項目の設定画面に移動します。

● サブメニューの設定をする場合は、メインメニュー画面から「サブメニュー」を選びます。さらに、サブメニュー画面から同じ手順で設定するメニュー項目を選んで設定をします。

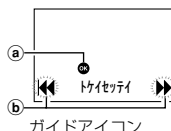
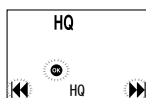
ガイドアイコン：次に操作するボタンをガイドアイコンの点滅表示でお知らせします。

ⓐ OK：▶OK を操作してください。（次画面に進みます）

ⓑ ⏮または⏭：⏭ または ⏮ を操作してください。（項目を切り替えます）

ガイドアイコン

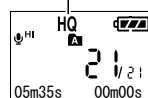
3 ⏭ または ⏮ を押して設定項目を選び、▶OK を押す。

HQ

● サブメニューの設定後にメインメニュー画面に移動する場合は、サブメニュー画面から「メインメニュー」を選びます。

4 ■ を押してメニューモードを終了する

録音モードを切り替える（ﾛｸｵﾝﾓｰﾄﾞ）

録音モードは、**HQ**（高音質録音）、**SP**（標準録音）、**LP**（長時間録音）から選ぶことができます。

現在の録音モード

モード	HQ	SP	LP
録音時間	約 17 時間 35 分	約 34 時間 40 分	約 69 時間 00 分

●表の録音時間は1件のファイルを連続して録音した時間です。
複数のファイルを録音すると録音時間がこれより短くなることがあります。
（録音可能な残り時間および録音時間表示はめやすとしてお使いください。）

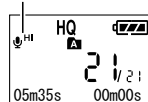
マイク感度を設定する（ﾏｲｸｶﾝﾄﾞ）

使用目的に合わせてマイクの感度を切り替えることができます。

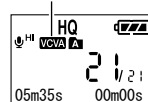
現在のマイク感度

モードの選択 ➜ ｶﾝﾄﾞ HIGH（HI）、ｶﾝﾄﾞ LOW（LO）

HI：周囲の音も録音できる高感度モード
LO：口述録音に適した通常感度モード

●失敗のない録音をおこなうために、録音前に試し録りをして状況に適したマイクモードを選んでください。
●「ｶﾝﾄﾞ HIGH」を選んだときは高感度の特性を生かすため、録音モードをHQに設定して録音することをおすすめします。
●「ｶﾝﾄﾞ HIGH」に設定すると、周囲の環境によって雑音が大きくなることがあります。

音声起動録音（VCVA）

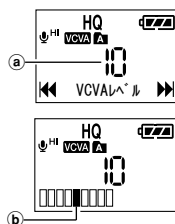
音声起動録音（VCVA）とは、◉を押した後、音声を感知すると自動的に録音が開始され、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙など自動的にカットして録音することによりメモリを節約することができます。

VCVA 表示

モードの選択 ➜ VCVA OFF、VCVA ON

VCVA の起動レベルを調節する

1 録音中に ⏭ または ⏮ を押して VCVA の起動レベルを調整する

ディスプレイにVCVA起動レベルが15段階(1〜15)で表示されます。数字が大きくなるほどVCVAの起動感度は高くなり、小さな音でも録音が開始されるようになります。

ⓐ VCVAレベル
ⓑ 起動レベル（設定レベルに応じて左右に動きます）

●録音中は録音/再生表示ランプが点灯し、待機中は録音/再生表示ランプとディスプレイの VCVA が点滅します。
●起動レベルは設定されているマイク感度により異なります。
●起動レベルの調節は 2 秒以内に行わないと表示が元に戻ります。

ローカットフィルタ（ﾛｰｶｯﾄﾌｨﾙﾀ）

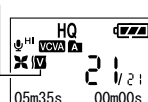
録音時に低周波音をカットし、音声をよりクリアに録音するローカットフィルタ機能を搭載しています。エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減することができます。

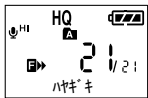
ローカット
フィルタ表示

モードの選択 ➜ ﾛｰｶｯﾄ OFF、ﾛｰｶｯﾄ ON

音声フィルタ（ｵﾝｾｲﾌｨﾙﾀ）

再生または早聞き･遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。設定は再生中にもおこなうことができます。

音声フィルタ表示

モードの選択 ➜ ｵﾝｾｲ OFF、ｵﾝｾｲ ON

再生スピードの設定と切り替え（ｵｿｷﾞｷ ｽﾋﾟｰﾄﾞ/ﾊﾔｷﾞｷ ｽﾋﾟｰﾄﾞ）

再生スピードを0.5倍速から1.5倍速の間で0.125倍刻みで変更できます。会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください。デジタル処理により、音程をかえずに音声を自動調整するため、違和感なく聞き取ることができます。

再生スピードを切り替える

再生中に（OK）を押す ➜ 押すたびに再生スピードが切り替わります。

ﾂｳｼﾞｮｳ（通常再生）→ ｵｿｷﾞｷ（遅聞き再生）→ ﾊﾔｷﾞｷ（早聞き再生）

再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持します。次回の再生では変更した速さで再生を行います。

再生スピードの設定を変更する

メニュー設定から「ｵｿｷﾞｷ ｽﾋﾟｰﾄﾞ」・「ﾊﾔｷﾞｷ ｽﾋﾟｰﾄﾞ」の再生スピードの設定を変更できます。設定は停止中または再生中のいずれの場合でも変更することができます。

1 （メニュー）を１秒以上押してメインメニュー画面に入ります

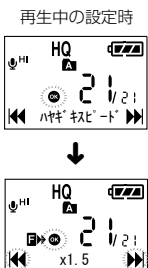
2 ▶▶|または|◀◀を押して「ｵｿｷﾞｷ ｽﾋﾟｰﾄﾞ」か「ﾊﾔｷﾞｷ ｽﾋﾟｰﾄﾞ」を選び、（OK）を押す

「ｵｿｷﾞｷ ｽﾋﾟｰﾄﾞ」または「ﾊﾔｷﾞｷ ｽﾋﾟｰﾄﾞ」の設定を開始します。

再生中の設定時

3 ▶▶|または|◀◀を押して設定したい再生スピードを選び、（OK）を 押す

➥「ｵｿｷﾞｷ ｽﾋﾟｰﾄﾞ」：0.5倍速、0.625倍速、0.75倍速、0.875倍速
➥「ﾊﾔｷﾞｷ ｽﾋﾟｰﾄﾞ」：1.125倍速、1.25倍速、1.375倍速、1.5倍速

「ｵｿｷﾞｷ ｽﾋﾟｰﾄﾞ」または「ﾊﾔｷﾞｷ ｽﾋﾟｰﾄﾞ」の設定画面に戻ります。

4 （■）を押してメニューモードを終了する

- 遅聞き再生するとディスプレイにS▶が点灯し、早聞き再生するとF▶が点灯します。
- 再生中にメニュー画面に入った場合は、カーソルの動きに合わせて再生スピードも変化します。

連続再生を設定する（ﾚﾝｿﾞｸｻｲｾｲ）

再生中のファイルが終了後も、フォルダ内にあるすべてのファイルを連続して再生することができます。

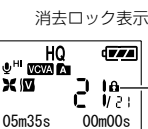
モードの選択 ➜ ﾚﾝｿﾞｸ OFF、ﾚﾝｿﾞｸ ON

- フォルダ内にあるすべてのファイルを再生するときは「ﾚﾝｿﾞｸ ON」を選択してください。最終ファイルまで再生すると、「ﾌｧｲﾙｴﾝﾄﾞ」が表示され、再生が停止します。

消去ロックを設定する（ｼｮｳｷｮﾛｯｸ）

ファイルに消去ロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。またフォルダ内ファイル全消去を行っても消去されません。

消去ロック表示

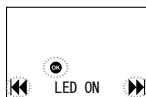
モードの選択 ➜ ﾛｯｸ ON、ﾛｯｸ OFF

BEEP音について（ﾋﾞｰﾌﾟ）

本機のボタン操作や誤操作を確認音でお知らせします。
確認音を出したくないときには鳴らないように設定できます。

モードの選択 ➜ ﾋﾞｰﾌﾟOFF、ﾋﾞｰﾌﾟON

LEDについて（LED）

録音/再生表示ランプを点灯しないように設定することができます。

モードの選択 ➜ LED ON、LED OFF

コントラストを調整する（ｺﾝﾄﾗｽﾄ）

ディスプレイのコントラストを12段階に調整できます。

モードの選択 ➜ 1から12の間で調整を行います。

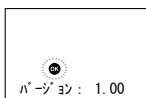
言語選択をする（ﾋｮｳｼﾞｹﾞﾝｺﾞ）

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選ぶことができます。

モードの選択 ➜ ﾆﾎﾝｺﾞ、English

システム情報（ｼｽﾃﾑ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）

メニュー画面から本機の情報を確認することができます。

システム情報 ➜ 本機のバージョン

初期化する（ﾌｫｰﾏｯﾄ）

初期化すると記録されているファイルはすべて消去され、年月日時分の設定を残し、各機能の設定が購入時の状態に戻ります。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

1 サブメニュー画面に入ります

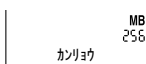
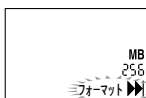
2 ⏭または⏮を押して「ﾌｫｰﾏｯﾄ」を選び、▶OKを押す

「⏮ｷｬﾝｾﾙ」と「ﾌｫｰﾏｯﾄ⏭」が交互に点滅します。

3 ⏭を押します

「ﾃﾞｰﾀｶﾞ ｼｮｳｷｮ ｻﾚﾏｽ」が2秒間表示された後、「ｶｲｼ ｼﾏｽｶ?」が表示されます。

4 ▶OKを押す

初期化を開始します。「ｶﾝﾘｮｳ」が表示されたら初期化完了です。

- 初期化を完了するまで数十秒かかることがあります。その間は絶対に電池を取り外したり、本機を切り離したりしないでください。データが破損する恐れがあります。
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化をすると消去ロックをかけたファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。

その他の機能

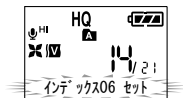
インデックスマークについて

インデックスマークをつけると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探すことができます。

インデックスマークをつける

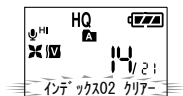
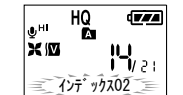
1 録音中（録音一時停止中）または再生中に ◎（インデックス）を押す

ディスプレイに番号が表示されインデックスマークがつきます。
インデックスをつけた後も録音または再生は続きますので、同様の操作で別の場所にインデックスをつけることができます。

HQ
ｲﾝﾃﾞｯｸｽ06 ｾｯﾄ

インデックスマークを消去する

1 消去したいインデックスマークのあるファイルを再生する

2 ⏭または⏮を押して消去したいインデックスマークを選び、◎（消去）を押す

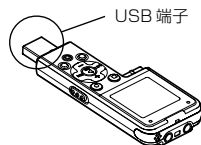
ディスプレイにインデックス番号が表示されている間(約2秒間)に◎(消去)を押してください。インデックスマークが消去されます。

- オリンパス製ICレコーダー以外の機器で作成されたファイルにはインデックスマークがつけられませんが、代わりにテンプマークをつけることで聞きたい位置の一時記憶ができます。操作はインデックスマークと同じです。
- テンプマークは一時的なマーキングなので、他のファイルへの移動、パソコンとの接続などをおこなうと自動的に消去されます。
- インデックスやテンプマークは1つのファイル内に最大で16件までつけることができます。
- 消去したインデックス･テンプマーク以降のインデックス番号は自動的に繰り上がります。
- 消去ロックをかけてあるファイルは、インデックスやテンプマークをつけたり消去することができません。

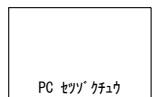
パソコンに接続する

本機は音声レコーダーとしての使いかたのほかに、パソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用できます。

- 本機で録音した音声ファイルをパソコンにバックアップ、保存することができます。
- パソコンの画像やテキストデータなどを本機に保存することができます。
- 本機はWMA（Windows Media Audio）形式で録音を行います。
- 本機で録音した音声ファイルは、パソコン上ではWindows Media Player／Windows Media Player for Macを使って再生できます。また、Windows Media Playerを使って取り込んだWMAファイルを転送し、本機でお楽しみいただけます。（ただし、著作権保護機能が施されたファイルを除きます）

USB端子

1 ホールドスイッチを矢印の方向にし、ディスプレイの消灯を確認してから本機を切り離す
消灯前に切り離すとデータが破損する可能性があります。

2 本機のUSB端子をパソコンのUSBポートまたはUSBハブに接続する

「PC ｾﾂｿﾞｸﾁｭｳ」が表示されると、データの保存や読み出しができます。データ送信中は「▶▶▶ PC」と表示され、データ受信中は「◀◀◀ PC」と表示され録音/再生表示ランプが点滅します。

データ受信中

3 音声ファイルをパソコンに取り込む

本機をパソコンと接続し、エクスプローラを起動するとリムバブルディスクとして認識されます。
５つのフォルダは、それぞれDSS_FLDA、B、C、D、Eとなり、その中に音声ファイルが保存されています。
本機で録音した音声ファイルは全て、WMAの形式となります。（例　V_130001.WMA）
パソコン内のお好きなフォルダにコピーしてください。音声ファイルをダブルクリックすれば、Windows Media Playerが起動し、再生を開始します。
Windows 2000をお使いの場合は、あらかじめWindows Media Playerをインストールする必要があります。

4 画面右下のタスクバーの 🖳 をクリックし、[USB大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します］をクリックする

本機をパソコンでお使いいただくためには

対応パソコン:	Windows	DOS/V 機（IBM PC/AT 互換機）
	Macintosh	Power Mac G3 233 MHz class processor or faster iMac/ iBook/ eMac/ Power Mac/ PowerBook
OS(オペレーティングシステム):	Windows	Microsoft Windows 2000/XP/Vista
	Macintosh	Mac OS X 10.2 以上
USB ポート	一つ以上の空き	

Windows 95 または 98 から Windows 2000/XP/Vista にアップデートした場合はサポート対象外となります。また、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。

ご注意

- 録音/再生表示ランプが点滅中は、絶対にUSBを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- パソコンのUSBポートまたはUSBハブについては、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 必要に応じ、別売りのUSB延長ケーブルをご使用ください。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続するときは、外部マイクやイヤホンを外してください。

安全に正しくお使いいただくために

お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。
- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

⚠ 警告　この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

⊘ この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。

❶ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

電池について

⚠ 警告

⊘ **本機に指定されてない電池を使わないでください。**
⊘ **充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。**
⊘ **電池部には本体部以外のものを絶対に挿さないでください。**
電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。

⊘ **火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。**
⊘ **古い電池と新しい電池、種類、メーカーの異なる電池を使わないでください。**
電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。
電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⊘ **電池の極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください。**
電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。
- 表面の被覆の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しない時は、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかにボイストレックから取り出してください。液漏れの恐れがあります。

❶ **万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、**
① 火傷に注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

本機について

⚠ 警告

❶ **分解、修理、改造をしないでください。**
感電やケガの恐れがあります。

⊘ **操作前から、音量（ボリューム）を上げないでください。**
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

⊘ **車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。** 交通事故などの原因となります。

⊘ **電池やこの製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。** 幼児、子供の近くで使用する時は細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故の恐れがあります。
例えば
　ー誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
　ー操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

❶ **水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、**
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店およびオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

❶ **航空機内や病院などで使用に制限のある場所でのご使用をお避けになるか、その場所の指示にしたがってください。**

故障かな？と思ったら

Q-1 操作を受けつけない。

A-1 ホールドスイッチが矢印の方向になっていませんか？
電池が消耗していませんか？
電池は正しく入っていますか？

Q-2 再生してもスピーカーから音が聞こえない、音が小さい。

A-2 イヤホンジャックにイヤホンが接続されていませんか？
または の操作で適切な音量に調節してありますか？

Q-3 録音できない。

A-3 本機が停止中に を押し続けると、
● 録音可能時間がゼロになっていませんか？
● ファイル件数が 200 件になっていませんか？
を押すと「ﾒﾓﾘｰ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されませんか？

Q-4 再生の速度が早い（または遅い）。

A-4 早聞き再生（または遅聞き再生）になっていませんか？

アフターサービスについて

お買い上げいただきました本機を安心してご愛用いただくために当社では、次のアフターサービス体制をとっております。 ユーザー登録を行っていただくと、各種サービス情報をお届けできます。
http://olympus-imaging.jp/からお願いします。

●オリンパスホームページ

http://www.olympus.co.jpでICレコーダー（ボイストレック）および関連製品の技術情報を提供しております。

●製品に関するお問い合わせは

オリンパスカスタマーサポートセンター

Tel ： フリーダイヤル 0120－084215／携帯電話・PHS：042－642－7499
Fax： 042－642－7486
※カスタマーサポートセンター・修理センターおよびサービスステーションの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

●修理に関するお問い合わせは

お買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後6年間をめやすに保有しております。したがいまして上記期間中は、原則として修理をお受けいたします。また期間後であっても修理可能の場合もあります。なお保証期間経過後の修理は有料となります。また、保証期間中でも運賃など諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。

主な仕様

記録媒体	内蔵型 NAND FLASH メモリー
録音時間	256MB HQ モード：約 17 時間 35 分 SP モード：約 34 時間 40 分 LP モード：約 69 時間 00 分
マイク	エレクトレットコンデンサーマイクロホン
スピーカー	ø16 丸型ダイナミックスピーカー内蔵
イヤホンジャック（ステレオ）	ø3.5mm、インピーダンス 8 Ω
マイクジャック（モノラル）	ø3.5mm、インピーダンス 2 kΩ
実用最大出力	70mW（スピーカー 8Ω）
電源	単４形電池１本（LR03 または ZR03）/ ニッケル水素充電池１本
電池持続時間(録音)	
アルカリ電池：	HQ：約 18 時間 /SP：約 18 時間 /LP：約 21 時間
ニッケル水素充電池：	HQ：約 15 時間 /SP：約 15 時間 /LP：約 17 時間
電池持続時間(再生)	
アルカリ電池：	スピーカー再生：約 6 時間 イヤホン再生：約 13 時間
ニッケル水素充電池：	スピーカー再生：約 5 時間 イヤホン再生：約 9 時間 （当社規定による連続録音測定値）
外形寸法	94.7mm（長さ）× 37mm（幅）× 10mm（厚み） （最大突起部含めず）
質量	46g（電池含む）
同梱品	本体 単 4 形アルカリ電池（1 本）/ 取扱説明書（保証書付き）/ サービスステーションリスト / イヤホン

＊本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますので　予めご了承ください。
＊電池寿命は使用電池・使用条件により大きく変ります。
＊お客様が録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
＊お客様が紛失された同梱品を再度必要とされる場合には、有料でのご購入となりますので、大切に保管してください。